

町内会連合会主催

令和元年度 町内会長と行政との懇談会意見交換概要

《とき》 令和元年7月8日（月）

《ところ》 グランドホテル藤花

《開催次第》

1. 開 会
2. 主催者挨拶 名寄市町内会連合会 会長 中 村 雅 光
3. 市長挨拶 名 寄 市 長 加 藤 剛 士 様
4. 令和元年度の市の主な事業等
 - (1) 総務部
 - (2) 総合政策部
 - (3) 市民部
 - (4) 健康福祉部
 - (5) 経済部
 - (6) 建設水道部
 - (7) 名寄市立大学
 - (8) 名寄市立総合病院
 - (9) 消防署
 - (10) 農業委員会
 - (11) 教育部
5. 質疑応答・意見交換
6. 閉 会
7. 懇 親 会



《参加者》 町内会：54名 行政：23名 計77名

【市長挨拶】

本日は多くの町内会長さんにお集まり頂き、感謝申し上げます。また、毎年このような貴重な機会を設けてくださっている町内会連合会の中村会長をはじめ、役員の皆様にもお礼申し上げます。さらに、それぞれ町内会という地域の最前線に立たれて地域町内会のために、あるいは町内会と行政とのパイプ役として協働のまちづくりのためにご奮闘いただいている皆様のご苦勞に心から敬意と感謝を申し上げます。

7月7日にはふれあい広場があり、4年ぶりに晴天に恵まれ外で開催できました。7月

10日には戦没者追悼事業があります。こういった行事は町内会長様たちのお力添えがなければ実現できません。

中村会長からもお話がありましたが、こちらの地方ではなかなか雨が降らず、少しずつ畑作物にも影響が出始めています。一方で先週は九州で豪雨がありました。この雨がこの地域に降ったらと考えると、非常に大変なことになったと予想されます。また、6月18日には山形県沖を震源とする地震が発生し、姉妹都市の鶴岡市では最大震度6弱を記録しました。家屋の破損等もあり、現在復旧中と聞いています。7月11日から18日まで名寄市職員を2人鶴岡に派遣し、復興事務に当たってもらいます。

人口減少・少子高齢化が日本全国、名寄市でも課題となっていますが、これを克服するためにあらゆる策を講じていかなければなりません。人口が減少しても横のつながりを保つことでいままで以上に幸せを感じるまちづくりをしていかなければなりません。これには町内会それぞれの力が必要不可欠であります。引き続き、ご指導ご鞭撻をお願いします。今日は懇談会なので様々な意見を賜り、これが名寄市のさらなる発展につながるようご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

【質疑応答・意見交換】

(1) 公共施設における選挙活動と、選挙に関する市の取り組みについて

市立病院内で診察開始前に選挙活動をしている人がいるように思えた。また、ポスター掲示などについてどこまで許されているのか教えてほしい。また、市の選挙に対する取り組みがあれば教えてほしい。【大橋区】

回答：総務部長

公共施設は投票所も含め、選挙活動や政党などに関わるポスターの掲示については許可していない。選挙関係について啓発が足りていなかった可能性がある。市議会選挙においても投票率が下がったということもあった。若年層の投票率を上げるために、高校・大学などに出向いて啓発活動をしたいとも考えている。ふれあい広場でも選挙関係でティッシュを配るなど、投票率向上のための活動をした。

(2) 旧ごみ処理施設について

私たちの町内会に旧ごみ処理施設がある。いつからか不明だが、施設の屋根に穴が開いている。ダイオキシンの関係もあるかと思うが、シートをかけるといった対応をしてもらいたい。また、名寄にも旧ごみ焼却施設があるが、今後解体などどのように対応する計画があるのかお知らせいただきたい。【風連2区】

回答：市民部長

風連地区の旧ごみ処理施設は、平成14年に廃止してから17年が経過しているとのことで、壁などに亀裂がある状況なのは把握していますが、今一度現場の細部までを確認し対応していきます。

回答：副市長

古い方の炭化センターについては、名寄市・下川町・美深町・音威子府村の4つの市町村で構成している衛生施設事務組合での話となります。状況説明のみとなりますが、市にある2つの施設も老朽化しているとともに、近隣市町村の施設でも同様な状況です。次の施設構築に関して、利用可能な補助金・交付金を見極め、どのようなものを作っていくべきなのかなど改めて議論していきます。

(3) 市営住宅について

旭東北区の近くにノースタウンと新北斗団地の2つの市営住宅がある。入居率が50%ほどで、町内会としての運営も難しい状況だという話も聞いている。また、新しい民間アパートなどに移る住民も多いとも聞いている。民間アパートが増えることで、市営住宅への入居が少なくなっているとすれば、今後どう考えていくのか教えていただきたい。

【旭東北区】

回答：建設水道部長

現段階ではノースタウンの入居率は7割強、道営住宅の平均入居率は約8割となっています。

平成27年度に市営住宅の長寿命化計画を立て、当初は899戸をその対象としたが、北斗団地、新北斗団地については相当数を絞らせていただいた。現在では839戸まで絞っている。令和18年には680戸まで絞る予定となっており、リニューアルしつつ部屋数を減らす方針で進める。民間マンションと市営住宅ではニーズが異なっていると考えている。

(4) 市職員との情報共有について

免許証の自主返納の話があったが、それに対する市のサービスはどうなっているのか。返納したくても出来ないという人もいる。自治基本条例には情報の共有化について書かれているが、だれが情報を共有し合うのか。各地域から出ている要望について書面で回答をいただいているが、それは現場を見て、住民と話をして共有してお互いに納得している内容なのか。今後人口減で生活がしづらくなっていくことを考えると、市職員と住民と情報を共有し、互いに納得する必要がある。指定管理制度などで、第三者が手を下し市職員が直接かかわらなくなるケースが増えていくと考えられるが、情報の共有をどこでし、納得

しあえるかが重要になってくる。市職員幹部とは充分に話す機会があるので、若い職員と話す機会があるとうれしい。【旭東北区】

回答：副市長

若い職員との話し合いの機会を作ることについては、個人的には非常に賛成。市役所も若返っている。

(5) 水稲試験地跡地の利用について

緑丘地区内に以前市の水稲試験地として使われた土地がある。水稲試験地の廃止に伴い、一般の方に払い下げたと思うが、現在一切手をかけていないのが現状である。市として、払い下げてしまえば責任はないのか、農業委員会はどのように考えているのか教えてほしい。国道沿いで人通りも多い所なので、見栄えが良くなるように指導してもらいたい。

【緑丘町内会】

回答：経済部長

民間に移譲したのは事実。民間が農地・非農地どちらとして管理していくか判断する。農地の場合、農業委員会も関係してくるので、連携して改めて現地を確認し必要な指導について考えていきたい。

回答：農業委員会事務局長

該当の土地が、農地の状態になっていないことは確認している。農地パトロールをして、耕作者に指導をしているが、経営が難しいなど事情がある場合は土地を売却してもらうなど指導をしている。非農地となったままで良いというわけではないので、農務課と連携して対応する。

(6) 事前の要望に対する回答について

この会の開催前にあらかじめ4つほど要望させてもらった。回答の内容は理解できるが、この後のことを知りたい。道に対する質問についても、その回答を教えてほしい。【1区】

回答：副市長

そのようにさせていただく。回答の時期などは改めて調整させていただく。

(7) 命のカプセルについて

命のカプセルについて、利用する方は一人暮らしや高齢者の方がほとんどである。その中で通院者も多く、1ヵ月ぐらいで病名が追加されたり、通院先が変わっていたりしている。現行では病名や通院先まで記載欄があるが、どのように記載していけばよいのでしょ

うか。また、民生委員が各町内会にいると思いますが、その方との対応はどのようになっているのでしょうか。【北5区】

回答：こども・高齢者支援室長

命のカプセルについては、1600を超える利用者がいて、年間でも30～50件ぐらいい増加している状況です。この中には個人情報に関わるものや、異なる病気の発症などによる記載事項の更新なども考慮しなければならないので、あらためて検討していきたいと考えております。民生委員については、現状でも関わっていただいているところです。町内会未加入者への対応も含め、改めて協力を要請していきたいと考えています。

(8) AEDについて

AEDについて、名寄のどこに設置されているかを知りたい。また、AEDには使用期限があり、期限切れの対応など実態はどのようになっているのか確認したい。【北5区】

回答：消防署長

現状では設置状況や利用期限について把握しておらず、当署でも問題視していたためAEDを設置している場所の登録制度というものを検討している。それを利用し、今後は市内全域AEDの設置場所を正確に把握し、またあわせて、使用期限についても消防から通知をして更新などを促すような対応をしていきたいと考えています。

(9) 除雪について

国道40号線と大橋通の交差点北側に名士バス徳田線、南側にコミュニティバス西廻りのバス停があるが、交差点北側の徳田線のバス停しか除雪されていない。コミュニティバスのバス停から乗る人もいるし、大学生が頻繁に通る場所であるが除雪がされていない。また、国道と市道の角に除雪の雪が積みあがっていく。除雪の対応をしてほしい。【大町区】

回答：建設水道部長

昨年もお話をいただき、担当者と業者にも話した。歩道をどちらも除雪するというのは難しい。現場については何度も見に行っている。雪をどこに寄せるかも重要になってくるので、また現場を確認しながら必要な対応を取りたい。

【市長まとめのあいさつ】

貴重なご提言をいただきありがとうございます。現場のことについてはさっそく現場に伝えて、対応させていただきます。

1区からは地域から出された意見に回答した後の対応が大切だとの意見をいただいた。必ず対応の内容を皆様にフィードバックさせていただきます。

大橋区からは選挙について、投票を増やすための活動をした方が良いのではないかと提言がありましたので、対応させていただきます。市議会の中でも投票率を上げる方法がないかと話題になっています。投票を促すような仕組み、例えば共通投票所を設けるなど様々な方法があるので、今後の検討課題とします。市民の皆さまがまちづくりに関心を持って、自然と投票に行くようになるのが地域の民主的なまちづくりの根幹になってくるのではないのでしょうか。

旭東北区からは行政と民間協働のまちづくりについて提言をいただきました。我々ではできるだけ市民の皆さんから様々な場面で提言をいただきながら前に進みたいと考えています。若手の職員と町内会との懇談の場についても提言をいただいたので、こういった形で出来るのか考えさせていただきたい。運転免許の返納について、地域によっては返納できない方もいるというお話もいただきました。デマンド交通を民間業者に委託している町もあるが、業者側も運転手の確保が出来ないなど厳しい局面に立っていることから、デマンド事業を返還したいと申し出、大変混乱しているというケースがありました。一方でライドシェアを導入している町もありますが、様々な規制が壁となっています。地域における課題を解決するために皆さんの意見を聞き、一つずつ丁寧に解決し、出来るだけ地域の希望に添えていくのが我々の役目だと考えています。それぞれの地域で問題やニーズがあるかと思いますので、それを感じ取れる機会を持ちたいと考えています。今回だけでなく、他の機会でもご意見をお聞かせ下さい。

改めて日ごろからそれぞれの町内会でご苦労いただいている皆様方に感謝を申し上げます。本日は誠にありがとうございました。